

都市大惜敗 攻勢及ばず

第93回全国高校サッカー選手権大会は31日、首都圏8会場で1回戦15試合を行った。県代表の都市大塩尻は横浜市のニッパツ三ツ沢球技場の第2試合で、高川学園(山口)に1-2で競り負けた。3年ぶり3回目の出場の都市大塩尻は、初出場した87回大会以来、6年ぶりの初戦勝利を狙ったが果たせなかった。(山浦雄一郎、小岩井真之)

高校サッカー
選手権大会



都市大塩尻は前半4分、FKの自陣ゴール前での競り合いから、こぼれたところを押し込まれて先制を許した。後半14分には、CKからの流れで追加点を許してリードを2点差に広げられた。後がない都市大塩尻は19分に、右サイドからDF三村のクロスに走り込んだMF代田が滑り込みながら合わせて1点差に迫ると、さらに攻勢を強めて攻め込んだが決め切れなかった。

山口・高川学園に1-2



後半19分、ゴールを決める都市大塩尻のMF代田

都市大塩尻は2点を追う後半19分、サイドを起点に理想的な流れで得点を奪った。練習を積み重ねてきた形で、敗れはしたものの持ち味の攻撃力を発揮した。「攻撃はできていた。都市大らしいサッカーだった」と高橋裕之監督。選手をねぎらうその目には涙が浮かび、選手たちの奮闘に勝利が結び付かなかった悔しさがにじんだ。

見せた攻撃力 意地の1点

2点のリードを許しながらも、選手たちに焦りはなかった。MF山元健志(3年)が「落ち込むことはなく、勝利のために攻める姿勢を強く持った」というように、劣勢から意地を見せた。待望の得点を決めたのはMF代田亮(2年)。「先輩たちのためにも

1回戦	高川学園	都市大塩尻
	2	1
	(1-0)	(1-1)
▽得点者	後19分代田	酒井村辺山本藤澤田森木
▽ゴールキーパー	GK	寺岡三彦角山百鬼代吉高
▽選手	本原口 田村本林部石田	沢 沢
	之原	4:4
	石中水小鏡伊梅	4:5
		4:2
▽交代	代田(後08綾部)村上(後	
【高】	岡田(後08綾部)村上(後	
【高】	39水本	
【高】	1部)有賀(HT角山)平林(後11	
【高】	高島(後20百瀬)赤沢(後	
【高】	28代田)	

応援席に300人 イレブン鼓舞

都市大塩尻の応援エスタンドには約300人が詰めかけ、チームカラーの赤色のぼり旗や風船の鳴り物、メガホンで応援席を赤一色に染めた。昨夏に1-2年生有志7人で結成したチア班も真っ赤なチア服姿で踊り、一体となって声援を送った。写真。厳しい試合展開にも、応援団長の唐沢知弘君(17)「3年」は「気持ちちは1000人分だ。応援で相手手を圧倒したい」と、次々と一人一人のチャント(応援歌)を歌い続けた。後半19分に1点を返すとスタンドの熱気は最高潮となり、最後まで



(小岩井真之)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。

無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。